

(様式第2号) (第11条関係)

設置
ばい煙発生施設使用届出書
変更

年 月 日

地域振興局長 殿

届出者 所在地
名 称
代表者氏名

良好な生活環境の保全に関する条例第29条（第30条、第31条）の規定により、ばい煙発生施設について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	
業 種		※ 施設番号	
主な製品又は事業の種類及び能力規模		※ 審査結果	
ばい煙発生施設の種 類			
ばい煙発生施設の構 造	別紙1のとおり		
ばい煙発生施設の使用の方法	別紙2のとおり		
ばい煙の処理の方 法	別紙3のとおり		
△ ばい煙の排出 の 方 法	別紙のとおり		

△ ばい煙発生施設 及びばい煙処理 施設の配置図		別紙のとおり
△ ばい煙の発生及 びばい煙の処理 に係る操業の系 統の概要		別紙のとおり
△ 煙道に排出ガス の測定箇所が設 けられている場 合は、その場所		別紙のとおり
摘 要	資本金の額	
	常時使用す る従業員の 数	
	公害防止管 理責任者の 氏名及び電 話番号	
※ 備 考		

- (備考) 1 届出書の種別（設置、使用、変更）については、当該届出に該当する文字を○で囲むこと。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り図表等を利用すること。

(別紙1)

ばい煙発生施設の構造

工場又は事業場における施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規	火格子面積又は羽口面断面積 (m^2)		
	原料の処理能力 (kg/h)		
	変圧器の定格容量 (kVA)		
模	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算L/h)		

- (備考) 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には、設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 規模の欄には、別表第2の中欄に掲げる施設の当該右欄に規定する項目について記載すること。
- 3 ばい煙発生施設の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。

(別紙2)

ばい煙発生施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号			
使用状況	1日の使用時間及び月使用 時日数等	時 ～ 時 時間/回回/日 日/月	時 ～ 時 時間/回回/日 日/月
	季節変動		
原材料 (ばい煙の発生に 影響のあるものに限る。)	種類		
	使用割合		
	原材料中の成分割合 (%)	硫黄分 塩素分	硫黄分 塩素分
	1日の使用量		
燃料又は電力	種類	(比重)	(比重)
	燃料中の成分割合 (%)	灰分 硫黄分	灰分 硫黄分
	発熱量		
	通常の使用量 (L/h)		
	混焼割合		
排出ガス量 (m ³ /h)	湿り	最大 通常	最大 通常
	乾き	最大 通常	最大 通常
排出ガス温度 (°C)			
ばい煙の濃度	硫黄酸化物 (容量比ppm)	最大 通常	最大 通常
	ばいじん (g/m ³)	最大 通常	最大 通常
	塩化水素 (mg/m ³)	最大 通常	最大 通常
ばい煙量	硫黄酸化物 (m ³ /h)	最大 通常	最大 通常
参考事項			

- (備考) 1 原材料中の成分割合 (%) の欄及び燃料中の成分割合 (%) の欄の記載にあたっては、重量比%又は容量比%の別を明らかにすること
- 2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態 (以下「標準状態」という。) における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとすること。
- 3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 4 ばい煙の濃度は、ばい煙処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 5 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一工程中の排出量の変動の状況を記載すること。

(別紙3)

ばい煙の処理の方法

ばい煙に係る処理施設の工場又は事業場における施設番号					
処理するばい煙発生施設の工場又は事業場における施設番号					
ばい煙処理施設の種類、名称及び型式					
設 置 年 月 日			年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日			年 月 日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日			年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量 (m ³ /h)	最 大			
		通 常			
	排出ガス温度 (°C)	処 理 前			
		処 理 後			
	ばい煙の濃度	ばいじん (g/m ³)	処 理 前		
			処 理 後		
		硫酸 化物 (容量比 ppm)	処 理 前		
			処 理 後		
	塩化 水素 (mg/m ³)	処 理 前			
		処 理 後			
	ばい煙量	硫酸 化物 (m ³ /h)	最 大	処 理 前	
			通 常	処 理 後	
		処 理 前			
		処 理 後			
補 集 効 率 (%)	ば い じ ん				
	硫 黄 酸 化 物				
	塩 化 水 素				
使 用 状 況	1日の使用時間及び月使用 日数等		時 ~ 時 時間/回回/日 日/月	時 ~ 時 時間/回回/日 日/月	
	季 節 変 動				
排出口の実高さH _o (m)					
補正された排出口の高さH _e (m)					
排 出 速 度 (m/s)					

(備考) 1 設置届出の場合には、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には、設置年月日の欄に、変更届出の場合には、設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。

2 排出ガス量及びばい煙量については、温度が零度であつて圧力が1気圧の状態（以下「標準状態」という。）における量に、ばい煙の濃度については、標準状態における排出ガス1立方メートル中の量に、それぞれ換算したものとすること。

3 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。

4 補正された排出口の高さH_eは、別表第4の2の右欄に掲げる算式により算定すること。

5 ばい煙処理施設の構造とその主要寸法を記入した概要図を添付すること。